

講義名	日本語A (読む)			授業形態	
担当教員	新井 佳子	開講期・曜日・時限	後期 火曜日 3時限		
		単位数	2	履修開始年次	1年生

主題と概要

この授業では、自力で教材や専門書を読み進めるための基礎的読解力をつけることを目的とする。様々なジャンルの文章を読んで内容を把握するだけでなく、テーマについて自分自身の考えをまとめ、表現することを目指す。

到達目標

- ・文章の大意を把握したり、必要な情報を読み取りたりできるようになる。
- ・日本語で読んだ内容について、自分で考えをまとめ、表現できるようになる。
- ・様々なトピックの文章を読むことで、新しい視点、論点を見出せるようになる。

提出課題

課題（ワークシート、宿題等）については授業中に指示する。毎回、漢字の読みや語彙の小テストを課す。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

ワークシート、宿題、小テスト等は添削し、各学生にフィードバックする。また、間違いが多かった問題に関しては、再度解説を行う。

評価の基準

授業への参加度、課題（30%）、小テスト（10%）、中間の理解度確認（30%）、期末の理解度確認（30%）

履修にあたっての注意・助言他

- ・出欠は毎向とる。
- ・15分以上の遅刻は欠席とみなす。
- ・遅刻3回で1回の欠席となる。
- ・全授業回数の1/3以上欠席した場合は、成績評価の対象から外す。
- ・授業には予習・復習を十分に行い、また積極的に参加することを望む。

教科書

.使用しない。

参考図書

.なし。

その他

授業中に、または、ポータルを通じて資料を配布する。

授業計画

- 第1回 オリエンテーション、「コミュニケーションのタイプを知る」
- 第2回 小説を読む（推理する）
- 第3回 小説とそのレビューを読む（たとえを使った表現）
- 第4回 前編文を読む「日本から世界へ」
- 第5回 ビジネス書を読む「発想の転換」
- 第6回 投資を読む「動物と暮らす」
- 第7回 ニュースを読む「もったいないは地球を救う？」
- 第8回 中間の理解度確認
- 第9回 人物伝を読む（歴史上の人物）
- 第10回 人物伝を読む（芸術家）
- 第11回 調査結果を読む（健康に関する世論調査）
- 第12回 実験結果を読む（実験・研究紹介、学術用語に触れる）
- 第13回 実験結果を読む（本文を読む）
- 第14回 実験結果を読む（発見活動）
- 第15回 期末の理解度確認

授業形態（アクティブ・ラーニング）

<input type="radio"/> ア：PBL（課題解決型学習）	<input type="radio"/> イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
<input type="radio"/> ウ：ディスカッション、ディベート	<input type="radio"/> エ：グループワーク
<input type="radio"/> オ：プレゼンテーション	<input type="radio"/> カ：実習、フィールドワーク
<input type="radio"/> キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

- 【予習】事前に配布する資料について、わからない漢字の読み方や、語彙・表現の意味を調べ、文章を読んでおく。（2時間程度）
- 【復習】学習した文章を読み直し、理解に時間を要した部分を中心に復習しておく。また、小テスト対策として、漢字の読み方を覚えたり、学習語彙・表現を使って作文などしておくこと。（2時間程度）

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

留学生を対象とした科目群であり、読解を中心とした総合的な日本語能力の向上とともに、知識を知恵に転換することができる、論理的思考力を持った人材の育成に関与している。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考